

卒業研究		演習	准教授 中川 剣人	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

運動やスポーツにおける巧みな運動のメカニズムを神経科学的・バイオメカニクス的手法を用いて調べる。

2. ゼミのねらい・概要

3年次「専門ゼミ」につづいて、神経科学・バイオメカニクス的方法を用いてヒトの巧みな身体運動のメカニズムを研究し、卒業論文にまとめる過程で、神経科学・バイオメカニクスの基礎知識、学術的思考力、論理性、データ分析力、プレゼンテーション能力、アカデミックライティングを習得する。

3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス	1. 後期ガイダンス
2. 研究計画の立案①：関連学術文献の読解	2. データ解析①：計測データの整理
3. 研究計画の立案②：関連先行研究の調査	3. データ解析②：目的とする解析変量の導出
4. 研究計画の立案③：背景・目的・方法の決定	4. データ解析③：統計処理によるデータ解析
5. 研究計画の立案④：計画書の仕上げ	5. データ解析④：解析結果のまとめ
6. 実験の準備①：実験対象の選定	6. 卒業論文の作成①：章立ての立案
7. 実験の準備②：実験系の構築と機材準備	7. 卒業論文の作成②：図表の作成
8. 実験の準備③：予備実験 1 回目	8. 卒業論文の作成③：引用文献の収集
9. 実験の準備④：予備実験 2 回目	9. 卒業論文の作成④：方法の作成
10. 実験の実施①：本実験 1 回目	10. 卒業論文の作成⑤：結果の作成
11. 実験の実施②：本実験 2 回目	11. 卒業論文の作成⑥：緒言の作成
12. 実験の実施③：本実験 3 回目	12. 卒業論文の作成⑦：考察の作成
13. 実験の実施④：本実験 4 回目	13. 卒業論文の作成⑧：目次、文献リストの作成
14. 実験の実施⑤：本実験 5 回目	14. 卒業論文の作成⑨：完成論文の仕上げ
15. 卒業研究進捗発表	15. 卒業研究発表

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

文献収集、被験者実験、データ解析、卒業論文執筆のため、ゼミ以外の時間で少なくとも週 3～4 時間は卒業研究の遂行を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期的に緊密な研究ディスカッションを行い、卒業論文と口頭発表に対しては査読や質疑応答を通して講評する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

実験の結果を卒業論文（口頭発表含む）としてまとめ、あわせて情報処理や文章作成など実務スキルを習得する。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 (50%) と卒業論文・口頭発表 (50%) を合算して評価する。

8. テキスト・参考文献

神経科学やバイオメカニクスに関する適切なテキストや文献を適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

部屋や機材の使用マナーを守り，実験機器の取り扱いには最新の注意を払うこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は，国立研究機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。